

Museum
and
Theatre
Information

ミュージアム+シアター最新情報

アート・ニュース・トーキョー

ART NEWS TOKYO

2015
10-12



東京都歴史文化財団
FOR TOKYO METROPOLITAN
FOUNDATION FOR
HISTORY AND CULTURE

東京都庭園美術館

Tokyo Metropolitan Teien Art Museum

東京都江戸東京博物館

Tokyo Metropolitan Edo-Tokyo Museum

江戸東京たてもの園

Edo-Tokyo Open Air Architectural Museum

東京都写真美術館

Tokyo Metropolitan Museum of Photography

東京都現代美術館

Museum of Contemporary Art Tokyo

トーキョーワンダーサイト

Tokyo Wonder Site

東京都美術館

Tokyo Metropolitan Art Museum

東京文化会館

Tokyo Bunka Kaikan

東京芸術劇場

Tokyo Metropolitan Theatre

東京都歴史文化財団への ご支援のお願い

公益財団法人東京都歴史文化財団では、当財団の芸術文化活動展開の趣旨にご賛同いただける皆様や、日頃から社会貢献にご理解のある企業の皆様に対しまして、当財団が主催する事業や展覧会に対するご支援を広くお願いしております。詳細は25ページをご参照ください。

Museum
and
Theatre
Information

ミュージアム+シアター最新情報

アート・ニュース・トーキョー

ART NEWS TOKYO

2015
10-12



東京都歴史文化財団
FOR TOKYO METROPOLITAN
FOUNDATION FOR
HISTORY AND CULTURE

秋のアートナビゲーター

女優

緒川たまき

Art Navigator of Autumn

Actress

Tamaki Ogawa





大事にされてきたものが、 これからも大事にされていく幸せ

To have been long cherished and to continue to be cherished is a pleasing matter

人が通うことで 生き返る家

江戸東京たても園は、これまでなかなかうかがう機会がなかった憧れの場所でした。今、西ゾーンから東ゾーンまで一巡りしてきたところですが、すでに「まだまだ見足りない、ずっとここにいたい!」という気分(笑)。建物が大好きな私にとって、特別な場所になってしまいました。園内を回って気づいたのですが、こんなに時代も造りも違う家が建ち並んでいながら、街並みにまったく違和感がないんです。各建物の移築位置が十分に配慮され、さらに建物一軒一軒が、丁寧な復元や手入れによって息を吹き返していますね。だから園全体に「生きている土地」のにおいが、ちゃんとしています。まるで、街を歩いていて、素敵な古い家ばかりが建ち並んだエリアに偶然迷い込んだような……、それくらい自然な見せ方で、ほんとうに驚きました。

緑豊かな小金井公園の中にある立地も魅力的で、四季の移り変わりによる景観の変化も楽しめそうですね。秋には紅葉のライトアップと同時に、行灯やランプのような照明で一部の建物を照らすイベントもあると聞きまして、

昔の照明で建物がどんな印象になるのか、ぜひ見てみたいと思いました。

日本流の洋館に 惹かれる

センターゾーンの「高橋是清邸」などの伝統的な日本建築も素晴らしいのですが、西ゾーンの「デ・ラランデ邸」や「田園調布の家」などの洋館に、とりわけ惹きつけられました。私はもともと、外国の旅先などで見る本家本元の西洋建築より、日本にある古い洋館に気持ちを動かされる方なのですが、この2軒は、まさに私の好きなタイプの建物でした。

明治から大正時代の最先端の生活スタイルだったという、椅子とテーブルの様式になってはいますが、ヨーロッパの建物に比べて、天井高や間取りなどが全体的にどことなく日本人の体型に合わせたスモールサイズになっていたりと、つくりつけ家具が押入れの

ような発想でしつらえてあります。そういった工夫の中には、今見ても参考にしなくなるような、暮らしのヒントがたくさん隠されているように感じました。

「持ち主以外の持ち主」 たち

ヨーロッパを旅行していると、何気なく立ち寄ったお店でも、「この建物は築300年だよ」といった話が普通に出てきます。東京では、残念ながらそういう時間軸で残されているものは少ないです。しかし、たとえば品川区の原美術館のように、庭も丁寧に手入れが施され、創建当時の姿を保ちながら、志ある人に新たな使われ方をされることで、今でも建物がいきいきと呼吸をし続けているケースもあります。あそこに行くと、展示会の面白さに加えて、古い建物がずっと大事にされている温かさを感じて、嬉しくなります。

一方で、東京に暮らしていて残念だと思うことは、見慣れていた建物があっけなく消えてしまうケースがとても多いことです。観光名所でも文化財でもないけれど、散歩の途中でそっと前を通ることを楽しみにしていた、そんなさりげなくも素敵な建物が、あ



田園調布の家(大川邸)。1925年竣工



XXXXXXXXXX
秋の
アートナビゲーター
女優
緒川たまき
Art Navigator of
Autumn
Actress
Tamaki Ogawa
XXXXXXXXXX

Tamaki Ogawa

緒川たまき

卓越した存在感で、テレビや舞台などで多彩な活躍を続ける緒川たまきさん。女優としての評価のみならず、文学やアートへの造詣の深さでも知られ、とりわけ建築には格別の思い入れがあるそうです。江戸時代から昭和時代初期にかけての建築物を移築復元した江戸東京たても園でお話をうかがいました。

Photo: Atsuko Kitaura Text: Naoko Goda 撮影協力: 江戸東京たても園



Hotspots
recommended



丸二商店（荒物屋）。昭和初期に千代田区神田神保町にあった店舗併用住宅

The Edo-Tokyo Open Air Architectural Museum is a place I always wanted to come but didn't have chance until now. I have just gone through it and already feel, "I can't see enough, I want to stay here forever!" This museum has become a precious place for me

る日突然取り壊され、やがて高層マンションになり、立派だった庭の指定保存樹木だけがぼつんと残されている……。そんなことがしばしばあります。

建物というものは、一度壊されてしまったら、容赦なくこの世から消えてしまいます。もちろん、自分に何ができたわけでもないけれど、それでもやっぱり、地団駄を踏みたくなるほど悔しくて(笑)。近所に住んでいる人にとって、その場所にあること自体が慰めであり、どうしようもなく愛着を覚えてしまう建物。江戸東京たても園にあるお店や家も、かつて建っていた地域の人たちにとっては、どれもそんな存在だったはず。そういう形で建物に愛情を注いでいた彼らは、いわば「持ち主以外の持ち主」とでもいうべき存在かもしれません。場所は移ったとはいえ、こちらの園に残されたことを喜んでいられる方も、たくさんいるでしょう。多くの「持ち主以外の持ち主」たちに大事にされてきた建物が、これからも大事にされていく。それは、とても幸せなことだと思います。

who loves architecture very much.

While I was walking around the museum site, I realized that there are so many different types of housing designs and different years when the houses were originally built, even though the streetscape here looked absolutely fine for me. Each building is in well considered locations. Moreover, all are well maintained and because of that, they have come to life again. I can feel the atmosphere of a "living land" throughout the museum site.

The museum location amid the lavish greenery of Koganei Park is also fascinating. It seems people may expect to enjoy changing scenery in rhythm with the seasons.

The "House of Korekiyo Takahashi", located in the central zone, is marvelous with its traditional Japanese architecture. I was also fascinated by the "House of George de Lalande" and "House of Okawa in Den'enchofu", both with Western flavors. I've personally been moved by old Western-style buildings in Japan, more so than seeing original Western buildings during my travels abroad.

When I go to Europe, I hear things like, "This building is 300 years old," spoken quite naturally in conversation in shops I happen to drop into. In Tokyo, such are very rare cases but I can see that some

old buildings are vividly breathing by maintaining their original shape under sympathetic people.

On the other hand, a number of buildings that were part of the landscape suddenly disappeared. These are not tourist spots, nor cultural properties, but I enjoyed walking through there on my strolls. Such wonderful buildings were suddenly demolished and replaced with high-rise condominiums. There is only a designated preserved tree left, which in the past was part of a majestic garden.

For the neighbors, buildings located in their areas provide a sense of comfort, and they are beloved objects. Those shops and houses relocated in the Edo-Tokyo Open Air Architectural Museum were also somewhat like that for the people who lived in the areas they were originally built. Although they were relocated, I believe many people feel happy because the buildings are here in this museum site. Many buildings that were cherished by "owners other than the original owners" will continue to be cherished. I believe that is a very pleasing matter.



常盤台写真場。2階のスタジオは安定した自然採光確保のため、北側に大きなガラス窓が備わる。

緒川たまき Tamaki Ogawa

映画「Pup」で女優デビュー。テレビ、映画、舞台で活躍。1997年に舞台「広島に原爆を落とす日」でゴールデン・アロー賞演劇新人賞、映画「SF サムライ・フィクション」で高崎映画祭最優秀助演女優賞を受賞。現在、「ロンリのちから」(NHK-Eテレ)などに出演中。



江戸東京たても園 Edo-Tokyo Open Air Architectural Museum

1993年開園。江戸時代から昭和初期にかけて建てられた文化的価値の高い建物を移築し復元・保存する野外博物館。約7ヘクタールの敷地に30棟が建ち並ぶ。昔の日本の建築や生活文化への理解を深める講座やイベントも随時開催。

住所：小金井市桜町 3-7-1 / Tel:042-388-3300

Established in 1993. An outdoor museum where architecture of a high cultural value and built from 1600-1930 (Edo Period to early Showa Era) have been relocated and are preserved.

緒川たまきさんのおすすめアートスポット

想像力をかきたてられる美しい建物や庭園が大好きという緒川さんに、東京都内でお気に入りの場所を4つ教えていただきました。

Tamaki Ogawa, who likes beautiful architecture and gardens that stir her imagination, shared with us her favorite four spots in Tokyo.



恩賜上野動物園「クマたちの丘」 "Bear Hill," Ueno Zoological Gardens

上野動物園は1882年、日本初の動物園として開園。緒川さん一推しのクマ舎は、2006年に完成。放飼場や冬眠の展示など、世界各地のクマが自然に過ごす姿を観察できる工夫が凝らされている。

住所：台東区上野公園 9-83 / Tel:03-3828-5171

Ueno Zoo was established in 1882 as the first zoo in Japan. Ms. Ogawa's most favorite new bear house was completed in 2006.

2 東京都庭園美術館 Tokyo Metropolitan Teien Art Museum

朝香宮鳩彦王邸として1933年竣工、1983年東京都庭園美術館として一般公開。アール・デコ様式の粋を凝らした本館は、国の重要文化財。正門から本館玄関までの道のりが「馬車で乗り入れるのにピッタリの優雅さ!」と緒川さん。

住所：港区白金台 5-21-9 / Tel:03-5777-8600 (ハローダイヤル)

Established in 1933 as a residence of Prince Yasuhiko Asaka. Opened to the public in 1983 as a museum.



4 原美術館 Hara Museum of Contemporary Art

実業家・原邦造の私邸として1938年竣工、現代美術を中心とした美術館として1979年開館。1930年代ヨーロッパモダニズムを取り入れ、曲線が巧みに組み合わせられたモダンな空間に、先鋭的な作品が調和する。

住所：品川区北品川 4-7-25 / Tel:03-3445-0651

Built in 1938 as the private residence of Kunizo Hara, successful business person. Opened as an art museum in 1979, specializing in contemporary art.





Otto Künzli, *Herz*, 1985, Hiko-Mizuno College of Jewelry Collection
Photo: Naoya Ikegami, Starring Kaoru Ishii

オットー・クンツリ展

10月10日(土)～12月27日(日)

OTTO KÜNZLI. THE EXHIBITION

Oct 10 Sat - Dec 27 Sun

アートとしてのジュエリーを創造するコンセプチュアル・ジュエリーのバイオニアであるオットー・クンツリ。彼はジュエリーが持つ身体との関係性やコミュニケーションの媒体としての性格を巧みに利用して、ジュエリーを普遍的な人間存在や社会のメタファーへと変換してきました。本展では1967年の初期作から本展のための最新作まで150件を超える作品を通して、「ジュエリーとは何か」という本質的な意味を問います。美術家で映像作家の山城大督氏とのコラボレーションによる映像作品も見どころです。

Otto Künzli is one of the most important figures in the world of contemporary jewellery. During his long career, he has skillfully worked the relationship between jewellery and the wearer's body, as well as the potential of jewellery as a medium of communication, to build connections between individuals and societies. In the process, he has transformed jewellery into a universal metaphor for humanity and social relations. This exhibition brings together over 150 works, ranging from his earliest pieces dating from 1967 to his most recent work created especially for this show and explores the essential meaning of "what is jewellery" through the works. A collaboration of video works with Japanese artist and film producer Daisuke Yamashiro is another highlight.

入場料:一般 1,000(800)円、大学生・専門学校生 800(640)円、中・高校生・65歳以上500(400)円。()内は20名以上の団体料金。小学生以下及び都内在住・在学の中学生は無料。身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方と、その付添者1名は無料。

会場:東京都庭園美術館

休館:第2・第4水曜日(ただし12月23日は開館)、12月24日(木)

主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館、東京新聞

Admission: Adults: ¥1,000 / College and vocational students: ¥800 / Junior High and High school students, and seniors (65 and over): ¥500

Closed: 2nd and 4th Wed (open on Dec 23), Dec 24 Thu



1.

2.

1. オットー・クンツリ

《2人のためのリング》1980年

Otto Künzli, *Ring für Zwei Personen*, 1980

© VG BildKunst 2013

2. オットー・クンツリ

《フーノーズ?》2001年

Otto Künzli, *Who Nose?*, 2001

© VG BildKunst 2013

Mini
Information

TTM: IGNITION BOX “新しい何かが生まれる美術館へ”

いま、ここ—2015年のTTM(東京都庭園美術館)—が発火装置(Ignition box)となり、美術館の空間を舞台に、映像、音楽、メディアアートが交差する、TOKYO発の多様なパフォーマンス・アーツを紹介するプログラム。昨年度に続き今年度も開催します。プログラムの詳細はウェブサイトをご覧ください。http://www.teien-art-museum.ne.jp/

TTM: 2015
IGNITION_BOX



横山松三郎《丁髷の男と外国人》写真油絵・コラージュ 1882(明治15)年頃 個人蔵
Matsusaburo Yokoyama, *A Japanese man with topknot hair and foreign man*, C. 1882
Private collection

Mini Information

企画展 「市民からのおくりもの 2015 —平成 25・26 年度 新収蔵品から—

東京都江戸東京博物館が新たに収蔵した資料を厳選し、常設展示室内5F企画展示室で紹介し(10月20日(火)～12月6日(日))。江戸東京の特徴的な文化を感じることができる美術品をはじめ、身近な生活用品にいたるまで、バラエティー豊かな江戸博コレクションの世界をお楽しみください。



狩野伯円 《隅田川納涼図屏風》
(右隻・部分) 江戸中期
東京都江戸東京博物館蔵

特別展 浮世絵から写真へ —視覚の文明開化—

10月10日(土)～12月6日(日)

From Ukiyo-e to Photography: Cultural Awakening in Japan's Visual Field
Oct 10 Sat – Dec 6 Sun

幕末から明治の浮世絵を眺めてみると、当時の人々が写真に深い関心を寄せていたことがわかります。また写真においても、浮世絵をはじめとする絵から様々な表現を取り入れていった様子がかがえます。そして絵と写真は、それぞれの枠を超えて、両者が大胆にからみあった実に面白い作品を生み出していきました。そこには人々の貪欲な好奇心や、新しい表現を手に入れたいという気迫が感じられるとともに、江戸時代以来の伝統というものも見え隠れしています。本展では、浮世絵をはじめとする絵と写真が、幕末から明治にかけて織りなした多彩な世界を紹介することで日本文化の近代化の一面を明らかにし、また、それと同時に時代が生んだ不可思議な作品を楽しんでいただけます。

Works of ukiyo-e created from the end of Edo Period to Meiji Era (the late 19th century) often hinted that people at that time had an interest in photography. Photography has taken various ways of expression from ukiyo-e, lithographs and other paintings. Then, fascinating works that crossed over the genres of painting and photography were created. From these works, viewers can find the creators' strong curiosity and passion to obtain techniques of new expressions. The tradition that proceeded from Edo Period has also been seen in those works at the same time. This exhibition tries to clarify part of the modernization of Japanese culture by introducing ukiyo-e and other paintings and photography that developed diverse expressions in the late 19th century in Japan. Visitors also enjoyed unique works created that were peculiar to this era.

入場料:一般1,350(1,080)円、大学生・専門学校生1,080(860)円、小・中・高校生65歳以上680(540)円。()内は20名以上の団体料金。未就学児童は無料。身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方と、その付添者2名は無料。

会場:東京都江戸東京博物館 1階特別展示室

休館:月曜日(ただし10月12日、11月23日は開館)、10月13日(火)、11月24日(火)

主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、読売新聞社

Admission: Adults: ¥1,350 / College and vocational students: ¥1,080 / Elementary, Junior High and High school students, and seniors (65 and over): ¥680

Closed: Mon (open on Oct 12, Nov 23), Oct 13 Tue, Nov 24 Tue



《富士山風景図》写真貼付ガラス絵 19世紀末～20世紀初頭(明治期) 個人蔵
Mount Fuji, late 19th-early 20th centuries (Meiji Era) Private collection

江戸東京たてもの園

Edo-Tokyo Open Air Architectural Museum

江戸東京たてもの園
EDO TOKYO OPEN AIR ARCHITECTURAL MUSEUM

前川國男邸
House of Kunio Mayekawa

紅葉とたてもののライトアップ 2015

11月21日(土)～23日(月・祝)

Illumination of fall foliage and buildings 2015
Nov 21 Sat - 23 Mon, Holiday

秋の夜、たてものと紅葉を美しくライトアップする3日間。今年は、前川國男邸が東京都指定有形文化財(建造物)に、吉野家、天明家、奄美の高倉の3棟が小金井市指定有形文化財に指定されたのを記念し、4つの建物を主役にした「紅葉とたてもののライトアップ」を開催します。江戸時代の茅葺き建造物の風格と、前川國男邸のモダンな佇まい。対照的な建物とあかりが醸し出す夜の情感を、照明デザイナー岩井達弥氏の監修でご堪能ください。

A three-day event featuring the beautiful illumination of buildings and foliage during autumn evenings. House of Kunio Mayekawa was designated as a cultural property this year under Tokyo Metropolitan Government. Farmhouses of the Yoshino Family and the Tenmyo Family and Elevated Granary from Amami-oshima Island were designated cultural properties by the municipal government of Koganei also this year. Commemorating the designations, the four buildings are the main focus for the "illumination of fall foliage and the buildings." Decent Edo-Period thatched roof architecture and the modern housing of House of Kunio Mayekawa are part of the event. Lighting designer Tatsuya Iwai produces richly contrasts the architecture with night lighting.

入場料:一般400(320)円、大学生320(250)円、中学生(都外)・高校生・65歳以上200(160)円。小学生以下・中学生(都内)無料。()内は20名以上の団体料金。身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方とその付添者2名は無料。

会場:江戸東京たてもの園
主催:東京都、江戸東京たてもの園

Admission: Adults: ¥400 / College students: ¥320 / Junior high school students living outside Tokyo, high school students, and seniors (65 and over): ¥200 / Elementary school students and younger, and junior high school students living in Tokyo: Free



1.



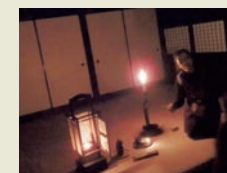
2.

1. 天明家(農家)
Farmhouse of the Tenmyo Family
2. 東の広場で行われるキャンドルナイト
Candle Night will be featured at East Square

Mini
Information

あかりの歴史体験

東ゾーンの万徳旅館では、行灯、ランプなどが灯された座敷脇を通り抜けながらむかしのあかりを体感できます。仕立屋の大正期のガス灯もイベント期間限定でご覧いただけます。



あかりの歴史体験
(万徳旅館)

東京都現代美術館

Museum of Contemporary Art Tokyo



テイバー・ロバック《20XX》2013年
Tabor Robak, 20XX, 2013
Courtesy: the artist and team (gallery, Inc.), New York

東京アートミーティングVI “TOKYO” 見えない都市を見せる

11月7日(土)～2016年2月14日(日)

Tokyo Art Meeting VI “TOKYO”: Sensing the Cultural Magma of the Metropolis
Nov 7 Sat - Feb 14 Sun, 2016

東京オリンピック・パラリンピックを2020年にひかえ、「東京」という都市をグローバルな文脈の中でどのように捉え直すのか、多くの計画や議論が起ち上がっています。本展覧会は、サブカルチャーやポップカルチャーと従来の美術史の文脈を交差、リミックスして新しいクリエイションを生み出す東京の潜在力に注目。視覚美術だけでなく、音楽、映像、デザインなど幅広いメディアを通して東京の創造力を可視化する試みです。

In the run-up to the 2020 Tokyo Olympics and Paralympic Games, numerous discussions have taken place and plans made to decide how to reassess Tokyo in a global context. This exhibition will focus on Tokyo's potential to remix the sub- and pop cultures that intersect the context of conventional art history to give birth to new creations. It is an experiment in realizing Tokyo's creativity and not limited to the visual arts, but encompassing a wide range of media, including music, video and design.

入場料:一般1,200(960)円、大学・専門学校生・65歳以上 900(720)円、中高生700(560)円。小学生以下無料(保護者の同伴が必要です)。()内は20名以上の団体料金。身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方と、その付添者2名は無料。

*本展チケットで「MOTコレクション」(常設展)もご覧いただけます
会場:東京都現代美術館 企画展示室1階、3階

休館:月曜日(11月23日、2016年1月11日は開館)、11月24日(火)、12月28日(月)～2016年1月1日(金)、2016年1月12日(火)

主催:東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館、アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)、産経新聞社

Admission: Adults: ¥1,200 / College students and seniors (65 and over): ¥900 / Junior high and high school students: ¥700

Closed: Mon (open on Nov 23, Jan 11, 2016), Nov 24, Dec 28 Mon - Jan 1 Fri, 2016, Jan 12, 2016

オノ・ヨーコ 私の窓から

11月8日(日)～2016年2月14日(日)

YOKO ONO: FROM MY WINDOW

Nov 8 Sun - Feb 14 Sun, 2016

さまざまな分野を横断し、新たな回路をつくってきたオノ・ヨーコ(1933-)。本展は、オノが作家活動を開始するまでの関連資料や、東京での活動、そして東京をめぐる作品などを通して、近代と現代、欧州と日本と米国、美術と音楽と文学を繋ぐその活動を、出身地東京の文脈で再考します。ユーモア溢れるコンセプチュアル・アートの先駆者が個人と社会を繋いだ軌跡を辿ります。

Yoko Ono (b. 1933) has worked freely across many fields, producing new creative circuits among people and media for 60 years. This exhibition in Tokyo, the artist's hometown, will display examples of her activities here in the 1950s and '60s, her works related to the city and materials related to her youth. It will show how she connects the modern with the contemporary; with Europe, Japan and the United States; and with art, music and literature.

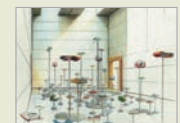


オノ・ヨーコ
《FROM MY WINDOW: Salem 1692》2002年
顔料・カンヴァス 個人蔵
Yoko Ono, FROM MY WINDOW:
Salem 1692, 2002, Pigment on
stretched canvas, Private Collection
© YOKO ONO 2015

Mini
Information

MOT コレクション

今期(11月7日(土)-2016年2月14日(日))は、常設展示室アトリウムにおいて、古いポータブル・レコード・プレーヤーそのものを音源として使ったサウンド・インスタレーション作品、《Without Records - MOT ver. 2015》の展示を予定しています。100台のプレーヤーが奏でる個性豊かな「響き」をぜひお楽しみください。



《Without Records - MOT ver. 2015》
イメージスケッチ
大友良英+青山泰知+伊藤隆之

入場料:一般1,200(960)円、大学・専門学校生・65歳以上 900(720)円、中高生700(560)円。小学生以下無料(保護者の同伴が必要です)。()内は20名以上の団体料金。身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方と、その付添者2名は無料。

*本展チケットで「MOTコレクション」(常設展)もご覧いただけます

会場:東京都現代美術館 企画展示室地下2階

休館:月曜日(11月23日、2016年1月11日は開館)、11月24日(火)、12月28日(月)～2016年1月1日(金)、2016年1月12日(火)

主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館

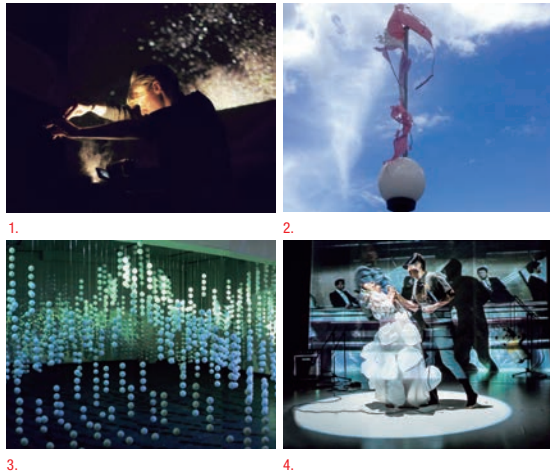
Admission: Adults: ¥1,200 / College students and seniors (65 and over): ¥900 / Junior high and high school students: ¥700

Closed: Mon (open on Nov 23, Jan 11, 2016), Nov 24, Dec 28 Mon - Jan 1 Fri, 2016, Jan 12, 2016

トーキョーワンダーサイト

tokyo wonder site
Institute of Contemporary Art and
International Cultural Exchange, Tokyo

Tokyo Wonder Site



1. デルフィーヌ・デュブレ (パフォーマンス)
Delphine Depres (Performance)
Photo: Violette Hello
2. アーノント・ノンヤオ (パフォーマンス)
Arnont Nongyao (Performance)
3. メラニー・ヴィンドル (サウンド・インスタレーション)
Melanie Windl (Sound Installation)
4. イザベラ・フレヴィンスカ & トメク・ベルグマン (パフォーマンス)
Izabela Chlewińska and Tomek Bergmann (Performance)
Photo: Kasia Chmura

トーキョー・エクスペリメンタル・フェスティバル Vol.10

11月21日(土)～2016年2月7日(日)

TOKYO EXPERIMENTAL FESTIVAL -SOUND, ART & PERFORMANCE - Vol.10
Nov 21 Sat - Feb 7 Sun, 2016

音楽やサウンドをテーマとした実験的な公演・展示を一挙に紹介するフェスティバル。アジアやヨーロッパなど国内外から集まったパフォーマンスとサウンド・インスタレーションを約3か月にわたって開催します。新しい表現を追求する気鋭アーティストたちの挑戦にご期待ください。

[サウンド・インスタレーション(TWS本郷)] 11月21日(土)～12月20日(日)、2016年1月9日(土)～2月7日(日)

参加アーティスト:木本圭祐、山形一生、大和田俊、メラニー・ヴィンドル

[パフォーマンス(TWS本郷、両国門天ホール)] 11月27日(金)～2016年2月6日(土)

参加アーティスト:工藤あかね、アーノント・ノンヤオ、ジュリオ・コランジェロ+ヴァレリオ・デ・ボニス、宝栄美希×山田岳、Vライ、DでEおO(トマツタカヒロ+東 弘基)、バイナリー、トンネル・アンサンブル、世界、山本和智、渡邊理恵、デルフィーヌ・デュブレ、イザベラ・フレヴィンスカ & トメク・ベルグマン、ヒューマナムー、アイゼンタンツ、素我蝶部

TOKYO EXPERIMENTAL FESTIVAL is a festival which introduces experimental performances and exhibitions focusing on music and sound, and it marks its 10th volume this year. Over a period of about three months, festival offers a unique agenda full of TEF style performances and sound installations by energetic artists from home and abroad.

[Sound Installation (TWS Hongo)] Nov 21 Sat - Dec 20 Sun, Jan 9 Sat, 2016 - Feb 7 Sun

Artist: Keisuke Kimoto, Issai Yamagata, Shun Owada, Melanie Windl

[Performance (TWS Hongo, Ryogoku Monten Hall)] Nov 27 Fri - Feb 6 Sat, 2016

Artist: Akane Kudo, Arnont Nongyao, Giulio Colangelo + Valerio De Bonis, Hoi Miki × Gaku Yamada, Vライ、DでEおO (Takahiro Tomatsu, Hiroki Azuma), BINARY, TUNNEL ENSEMBLE, The World, Kazutomo Yamamoto, Rie Watanabe, Delphine Depres, Izabela Chlewińska and Tomasz Bergmann, humanamuh, EISENTANZ, Scarabe

入場料:[サウンド・インスタレーション]無料、[パフォーマンス]有料※料金はプログラムにより異なります。詳細はTWSウェブサイトをご覧ください

会場:トーキョーワンダーサイト本郷、両国門天ホール

休館:トーキョーワンダーサイト本郷:月曜日(祝休日の場合は翌平日)、

12月21日(月)～2016年1月8日(金)

主催:公益財団法人東京歴史文化財団
トーキョーワンダーサイト

Admission: [Sound Installation] Free, [Performance] Subject to fees (depends on each program)

Venue: [Sound Installation] Tokyo Wonder Site Hongo, [Performance] Tokyo Wonder Site Hongo, Ryogoku Monten Hall

Closed: Tokyo Wonder Site Hongo : Mon (When Mon is a national holiday closed on the following weekday), Dec 21 Mon - Jan 8 Fri, 2016

TWS-Emerging 2015

4月11日(土)～2016年1月24日(日)

TWS-Emerging 2015
Apr 11 Sat - Jan 24 Sun, 2016

TWS-Emerging は、公募展「トーキョーワンダーウォール」の入選者から希望者を募り、審査を経て選ばれた若手アーティストが個展形式で発表します。総勢21名の才能ある若手アーティストたちの作品を2016年1月まで、7期にわたってTWS渋谷で紹介しています。

[会期・アーティスト]第5期:9月26日(土)～10月25日(日) 大人倫菜、木浦奈津子、野島良太

第6期:11月7日(土)～12月6日(日) 渡邊拓也、北村拓之、黒河希

第7期:12月19日(土)～2016年1月24日(日) 朴ジヘ、福本健一郎、大岩雄典

TWS-Emerging introduces 21 young and up-coming artists who were selected at the Tokyo Wonder Wall annual open call exhibition. Through January 2016, the artists will present their works at TWS Shibuya in different periods as a solo exhibition style.

Artist: [Part 5: Sep 26 Sat - Oct 25 Sun] Rina Ohito, Natsuko Kiura, Ryota Nojima

[Part 6: Nov 7 Sat - Dec 6 Sun] Takuya Watanabe, Hiroyuki Kitamura, Nozomi Kurosawa

[Part 7: Dec 19 Sat - Jan 24 Sun, 2016] Jihye Park, Kenichiro Fukumoto, Euske OIwa

入場料:無料

会場:トーキョーワンダーサイト渋谷

休館:月曜日(祝休日の場合は翌平日)、12月28日(月)～2016年1月4日(月)

主催:公益財団法人東京歴史文化財団
トーキョーワンダーサイト

Admission: Free

Venue: Tokyo Wonder Site Shibuya

Closed: Mon (When Mon is a national holiday closed on the following weekday),

Dec 28 Mon - Jan 4 Mon, 2016



大人倫菜はじまりの為の地図2014年
Rina Ohito, Map for the beginning, 2014

「OS-XX ～都市未来のオペレーション・システムへの序章～」第2期

10月3日(土)～11月8日(日)

OS-XX -Prelude to the operation systems of the future city (Part 2)
Oct 3 Sat - Nov 8 Sun

OS-XX 展では、都市における「基本ソフト (OS)」について検証し、歴史的背景を踏まえながら、東京の未来、そして都市の未来について考えます。グローバリズムの中で逆説的に沸き起こる文化的価値観の多様性をどのように吸収し、アイデンティティを形成するのか。最新のアイデアとメソッドロジーを展開するクリエイターや研究者の視点を通して、未来の都市は何によって形成されるかを探ります。

参加者:小淵祐介研究室(東京大学)、ジョン・N・ボーン(SCI-Arc)、田中功起、幅允孝、九富美香 ほか
This project aims to discuss the idea of an "Operation System (OS)" in a contemporary urban city, and the future of Tokyo as well as other cities based on historical contexts. By searching how identities are built in the process of absorbing the diversity of values and their paradoxical eruption among globalization, this program attempts to show different perspectives from creators and researchers through new ideas and methodologies.

Creator: Yusuke Obuchi-lab (Tokyo Univ.), John N Bohn (SCI-Arc), Koki Tanaka, Yoshitaka Haba, Mika Kutomi, others.

入場料:無料

会場:トーキョーワンダーサイト本郷

休館:月曜日(祝休日の場合は翌平日)

主催:公益財団法人東京歴史文化財団
トーキョーワンダーサイト

Admission: Free **Venue:** Tokyo Wonder Site Hongo

Closed: Mon (When Mon is a national holiday closed on the following weekday)



T_ADS 小淵研究室(リサーチパビリオン 2015:STIK Pavilion)割り箸を分布する独自工具の開発 2014年

T_ADS Obuchi-lab, STIK pavilion (2014) © 2014 Toshihiko Kiuchi. All rights reserved

Mini Information

生誕90周年 A.C. -AFTER CATHY-
「声の逆襲」一声楽家キャシー・バーベリアンの革命一

「若手のための現代音楽企画ゼミ」受講生の中から、審査を経て選出された薬師寺典子(ソプラノ)によるコンサートを12月19日(土)東京文化会館(小ホール)で開催します。



薬師寺典子



クロード・モネ《印象、日の出》1872年
※9月19日から10月18日までの期間限定出品
Claude Monet, *Impression, Sunrise*, 1872 Musée Marmottan Monet, Paris © Christian Baraja
*The work *Impression, Sunrise* will be displayed for a limited period: 9/19-10/18

マルモッタン・モネ美術館所蔵 モネ展

9月19日(土)～12月13日(日)

Impressionist Masterpieces from Marmottan Monet Museum

Sep 19 Sat – Dec 13 Sun

パリのマルモッタン・モネ美術館から、画家が最期まで手元に残したモネ・コレクションをご紹介します。家族の肖像画から光と色彩の溢れる晩年の睡蓮、さらにモネの収集した作品を含めた約90点を通してモネの豊かな創作の世界に迫ります。また、「印象派」という呼称の由来となった《印象、日の出》も特別出展されます。

Presenting “Monet’s Monet collection” from Marmottan Monet Museum, an exhibition of works originally in the artist’s possession. Through some 90 pieces, ranging from family portraits to Monet’s late-period Water Lilies paintings filled with light and color, and artworks personally collected by Monet, we will explore Monet’s rich creative world. Featured will be *Impression, Sunrise*, the painting from which “Impressionism” took its name.

●夜間開室のお知らせ

金曜日、10月31日(土)～11月2日(月)は9:30～20:00

《印象、日の出》展示期間中[9月19日(土)～10月18日(日)]の金曜日・土曜日、10月11日(日)は9:30～21:00(入室は閉室の30分前まで)

入場料:一般1,600(1,400)円、学生1,300(1,100)円、高校生800(600)円、65歳以上1,000(800)円。()内は20名以上の団体料金。中学生以下無料。身体障害者手帳、愛の手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、被爆者健康手帳をお持ちの方と、その付添の方1名は無料。いずれも証明できるものが必要。

会場:東京都美術館 企画展示室
休室:月曜日(ただし、10月12日、11月2日、11月23日は開室)、10月13日(火)、11月24日(火)
主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都美術館、マルモッタン・モネ美術館、日本テレビ放送網、読売新聞社、BS日テレ

Admission: Adults: ¥1,600 / College students: ¥1,300 / High school students: ¥800 / Seniors (65 and over) : ¥1,000

Closed: Mon (open on Oct 12, Nov 2, Nov 23), Oct 13 Thu, Nov 24 Thu

第4回 都美セレクション グループ展

11月26日(木)～12月20日(日)

Group Show of Contemporary Artists 2015

Nov 26 Thu – Dec 20 Sun

従来の発想にとらわれない新しい表現を追求する現代作家のグループ展。絵画、彫刻、映像、写真、インスタレーションとジャンルも多様な5グループの展覧会を開催します。

A group exhibition of artists exploring new directions in contemporary art. The work of five groups spanning the genres of painting, sculpture, video, photography, and installation will be featured.

入場料:無料

会場:東京都美術館 ギャラリーA、B、C

休室:12月7日(月)

主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都美術館

Admission: Free

Closed: Dec 7 Mon

no	会期	展覧会名	
1	11月26日(木)～12月6日(日)	忘れたと思った?	you can see it (but you can't feel it)
2	11月26日(木)～12月6日(日)	東北画は可能か?—地方之國構想博物館—	Is it possible “TOHOKU-GA”? — Museum for Hypothetical State of Tohoku —
3	12月5日(土)～12月20日(日)	JIS is it —みえない規格—	JIS is it: Invisible Standards
4	12月9日(水)～12月20日(日)	センシュアス・ストラクチュアス—官能的な構造のために—	sensuous structures
5	12月9日(水)～12月20日(日)	戦争画 STUDIES	SENSOU-GA STUDIES



1.



2.



3.



4.



5.

1. 宮台えりか《About A Hole》2012年、2015年
2. 「山形ビエンナーレ2014」における展示風景(会場:東北芸術工科大学7Fギャラリー) Photo:Kohei Shikama
3. 弓削真由子《曇園》2006-2014年
4. 市川裕司《世界樹I》2014年(「市川裕司展-世界樹-」展示風景 会場:スパイラルガーデン、東京) Photo:鳥村美紀
5. 村田真《ブチ戦争画》2015年



“究極のモネ展”

本展のみどころのひとつとなるのは、印象派をいち早く評価した医師で収集家ド・ペリオのコレクション。この中でもマルモッタン・モネ美術館の至宝《印象、日の出》、《ヨーロッパ橋、サン＝ラザール駅》が期間限定で特別出展されます。



クロード・モネ《ヨーロッパ橋、サン＝ラザール駅》1877年
Musée Marmottan Monet, Paris
© Bridgeman-Giraudon
※10月20日から12月13日までの期間限定出品

東京文化会館

Tokyo Bunka Kaikan



Music Program TOKYO プラチナ・シリーズ 第3回 ゴートリエ・カプソン & 児玉桃

～二人のエスプリが奏でるチェロ・ソナタ～

11月27日(金)小ホール

The Platinum Series No.3 Gautier Capuçon & Momo Kodama
Nov 27 Fri Recital Hall

チェロ界の大家ゴートリエ・カプソンと、室内楽でも評価の高い児玉桃による充実のプログラム。

Fantastic program featuring the great cello player Gautier Capuçon and pianist Momo Kodama, who is highly regarded in the chamber music scene.

開演：19:00

出演：ゴートリエ・カプソン (チェロ)、児玉桃 (ピアノ)

曲目：シューマン/幻想小曲集 op.73 (チェロとピアノ編)、ブリテン/チェロ・ソナタ ハ長調 op.65、ドビュッシー/チェロ・ソナタ ニ短調、ブラームス/チェロ・ソナタ第1番 短調 op.38

料金：S席 5,000円、A席 4,000円、B席 2,500円 (B席売切)

主催：東京都、東京文化会館・アーツカウンシル東京 (公益財団法人東京都歴史文化財団)

※未就学児の入場はご遠慮ください

Performer: Gautier Capuçon (Cello), Momo Kodama (Piano)

Admission: S seats: ¥5,000, A seats: ¥4,000, B seats: ¥2,500 (B seats are sold out)

ゴートリエ・カプソン
Gautier Capuçon
Photo: Michael Tammaro児玉桃
Momo Kodama
Photo: Marco Borggreve

《響の森》vol.37 ニューイヤーコンサート2016

2016年1月3日(日)大ホール

Tokyo Bunka Kaikan New Year Concert 2016

Jan 3 Sun, 2016 Main Hall

2016年の「聴き初め」は東京文化会館で！ 東京文化会館音楽監督を務める「炎のコバケン」こと小林研一郎がチャイコフスキーとブラームスの名曲をお届けします。新年を華やかに彩る「炎のニューイヤー」をお楽しみください。

Enjoy the first concert in 2016 at Tokyo Bunka Kaikan! Kenichiro Kobayashi who serves as Music Director of Tokyo Bunka Kaikan, will present masterpieces of Tchaikovsky and Brahms. Please enjoy the New Year concert of "kobayashi who fire" that will be a magnificent celebration of the New Year.

開演：15:00

出演：小林研一郎 (指揮)、金子三勇士 (ピアノ)、東京都交響楽団

曲目：チャイコフスキー/ピアノ協奏曲第1番 変ロ短調 op.23、ブラームス/交響曲第1番 ハ短調 op.68

料金：S席 6,200円、A席 4,100円、B席 2,100円

主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館

協力：公益財団法人東京都交響楽団

小林研一郎
Kenichiro Kobayashi
Photo: 満田聡金子三勇士
Miyuji Kaneko
Photo: K Miura

東京文化会館ザ・イヤーパートナー：上野精養軒

助成：平成27年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

※未就学児の入場はご遠慮ください

Performer: Kenichiro Kobayashi (Conductor), Miyuji Kaneko (Piano), Tokyo Metropolitan Symphony Orchestra

Admission: S seats: ¥6,200, A seats: ¥4,100, B seats: ¥2,100

Music Program TOKYO まちなかコンサートVol.3 よりみちコンサート 歌で贈るクリスマス・プレゼント

12月22日(火)小ホール

The Machinaka Concert Vol.3: Yorimichi Concert - Christmas Present by Songs

Dec 22 Tue Recital Hall

お仕事帰りにちょっとよりみち。ワンコインで楽しめるクラシック入門のプログラムです。

Just a bit drop in after work and stay a while. Enjoy this program for beginners of classic music for one coin (500 yen)

開演：19:00

出演：上田純子 (ソプラノ)、清水理恵 (ソプラノ)、宮里直樹 (テノール)、

高橋洋介 (バリトン)、藤原藍子 (ピアノ)

曲目：バッハ=グノー/アヴェ・マリア、モーツァルト/モテット「踊れ、喜べ、幸いなる魂よ」より アレルヤ、ビゼー/アニュス・デイ、プッチーニ/オペラ「ラ・ボエーム」より 抜粋 ほか

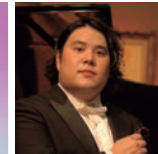
料金：自由 500円

主催：東京都、東京文化会館・アーツカウンシル東京 (公益財団法人東京都歴史文化財団)

※未就学児の入場はご遠慮ください

Performer: Junko Ueda (Soprano), Rie Shimizu (Soprano), Naoki Miyasato (Tenor), Yosuke Takahashi (Baritone), Aiko Fujiwara (Piano)

Admission: ¥500

上田純子
Junko Ueda清水理恵
Rie Shimizu宮里直樹
Naoki Miyasato高橋洋介
Yosuke Takahashi

第13回東京音楽コンクール 優勝者コンサート

2016年1月11日(月・祝)大ホール

The 13th Tokyo Music Competition First Winners' Concert

Jan 11 Mon, Holiday, 2016 Main Hall

第13回東京音楽コンクールを制覇した各部門の優勝者が、ソリストとしてオーケストラと共演します。東京文化会館から羽ばたく新進アーティストの熱演に、どうぞご期待ください。

The 13th Tokyo Music Competition winners from each sections will perform as soloists with the Tokyo Philharmonic Orchestra. Please look forward to passionate performances by up-and-coming artists as they spread their wings from the Tokyo Bunka Kaikan.

開演：14:00

出演：水野優也 (チェロ)、鈴木一成 (ファゴット)、清水勇磨 (バリトン)、梅田俊明 (指揮)、東京フィルハーモニー交響楽団、朝岡聡 (司会)

料金：指定 2,000円 ※各種割引あり

主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館、読売新聞社、花王株式会社、東京都

協賛：あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、有馬温泉 有馬グランドホテル、株式会社コンサートサービス、サントリーホールディングス株式会社、東京地下鉄株式会社、三井住友海上火災保険株式会社、森平舞台機構株式会社

東京文化会館ザ・イヤーパートナー：上野精養軒

助成：平成27年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

※未就学児の入場はご遠慮ください

Performer: Yuya Mizuno (Cello), Kazunari Suzuki (Bassoon), Yuma Shimizu (Baritone), Toshiaki Umeda (Conductor), Tokyo Philharmonic Orchestra, Satoshi Asaoka (MC)

Admission: ¥2,000

Mini Information

東京文化会館ミュージック・ワークショップ ミュージック・ワークショップ・フェスタ

ポルトガルで質の高い教育プログラムを実施し、世界から注目を集めている音楽施設「カーザ・ダ・ムジカ」と連携し、様々なワークショップを東京文化会館(10月・12月・2016年1月)と東京芸術劇場(10月)で開催します。ワークショップごとに日時、対象などが異なります。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

リズムカル・キッチン
Photo: Mino Inoue

東京芸術劇場

Tokyo Metropolitan Theatre

東京
芸術
劇場
Tokyo
Metropolitan
Theatreルーマニア国立ラドゥ・スタンカ劇場
「ガリバー旅行記」「オイディプス」

ルーマニア語上演 日本語・英語字幕付

10月15日(木)～18日(日)、21日(水)～23日(金) プレイハウス

Radu Stanca National Theatre From Sibiu "Gulliver's Travels" "Oidip"
Oct 15 Thu - 18 Sun, 21 Wed - 23 Fri Playhouse

エディンバラ、アヴィニョンに並ぶ欧州第3のフェスティバルと言われるシビウ国際演劇祭の中心劇場であるルーマニア国立ラドゥ・スタンカ劇場のレパートリー作品より、平成24年度に招聘して評価の高かった「ルル」の演出家であるシルヴィウ・ブルカレーテ演出作品を2作品招聘し、連続上演します。

Sibiu in Romania is known for its international theater festival, the third biggest in Europe after Edinburgh and Avignon. Two repertoire programs of Radu Stanca National Theatre From Sibiu, a main theater of the festival, will be brought to the stage in Tokyo and performed two programs. The two programs are directed by Silviu Purcărete, who also directed "Lulu," which was featured here in 2012 and received high reputation.

◎ガリバー旅行記

日程：10月15日(木)～18日(日)

演出：シルヴィウ・ブルカレーテ

出演：オフェリア・ボビ ほか

◎オイディプス

日程：10月21日(水)～23日(金)

演出：シルヴィウ・ブルカレーテ

出演：コンスタンティン・キリアック、オフェリア・ボビ ほか

料金：各公演 全席指定S席5,500円、A席4,500円、

2公演S席セット券10,000円 ほか

主催：東京都、東京芸術劇場・アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)

Direction: Silviu Purcărete

Cast: Constantin Chiriac, Ofelia Popii, etc.

Admission: Each performance S seats: ¥5,500, A seats: ¥4,500, Set (S seats): ¥10,000, etc.



1. ガリバー旅行記
Gulliver's Travels
2. オイディプス
Oidip

Mini
Information

ストリートアーティスト・アカデミー 2015

街の雰囲気を変え、行き交う人々に感動を与えてくれるストリートパフォーマーを生み出すこと、レベルアップをしたいと考えているパフォーマーを支援することを目的に「ストリートアーティスト・アカデミー」を開講。受講生募集中! 詳しくはウェブサイトをご覧ください。

開館25周年記念コンサート
ジョワ・ド・ヴィーヴル — 生きる喜び

11月1日(日) コンサートホール

25th Anniversary Concert: Joie De Vivre (Joy of Life)

Nov 1 Sun Concert Hall

オルガン、合唱、ダンスによる「祈り」、若い演奏家とともに奏でる吹奏楽による「希望」、そしてトゥーランガリーラ交響曲が大きく歌い上げる「愛」。この3章の構成で「生きる喜び」を表現する祝祭の日。

“Pray” by organ, chorus, and dance performances, “hope” of wind instrument music played by young musicians, and “love” sung under La Turangalila Symphonie. This is a festive day to express the “Joy of Life” under a three-part program.

開演：第1部 15:00、第2部 17:30 ※入替制

出演：第1部「祈り」：鈴木優人(指揮&ポジティブ・オルガン)、石丸由佳(オルガン)、小尻健太(ダンス)、バツハ・コレギウム・ジャパン(合唱)

第2部「希望と愛」：鈴木優人(指揮)、児玉桃*(ピアノ)、原田節*(オンド・マルトノ)、芸楽ウインド・オーケストラ**、東京交響楽団*

曲目：第1部「祈り」：鈴木優人/《アボカリプスII》(抜粋)、W.A. モーツァルト/《アヴェ・ヴェルム・コルプス》KV618、A. ベルト/《主よ平和を与えたまえ》ほか

第2部「希望と愛」：I. ストラヴィンスキー-(R. アルズ編曲)/組曲《火の鳥》**、O. メシアン/《トゥーランガリーラ交響曲》* ほか

料金：第1部：全席指定 4,000 円

第2部：全席指定 S 席 7,000 円、A 席 6,000 円、B 席 5,000 円、C 席 4,000 円、25 歳以下 2,000 円

通し券：全席指定 S 席 10,000 円、A 席 8,000 円、B 席 7,000 円

主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場

Performer: [Part 1] Masato Suzuki (Conductor, Positive organ), Yuka Ishimaru (Organ), Kenta Kojiri (Dance), Bach Collegium Japan (Chorus)

[Part 2] Masato Suzuki (Conductor), Momo Kodama (Piano), Takashi Harada (Ondes Martenot), Geigeki Wind Orchestra, Tokyo Symphony Orchestra

Admission: [Part 1] ¥4,000 / [Part 2] S seats: ¥7,000, A seats: ¥6,000, B seats: ¥5,000, C seats: ¥4,000, 25 and under: ¥2,000 / Part 1 & Part 2 S seats: ¥10,000, A seats: ¥8,000, B seats: ¥7,000



鈴木優人
Masato Suzuki
Photo: Marco Borggreve



児玉桃
Momo Kodama
Photo: Marco Borggreve



東京交響楽団
Tokyo Symphony Orchestra
Photo: N.Ikegami

RoOTS Vol.03

「書を捨てよ町へ出よう」

12月5日(土)～27日(日) シアターイースト

Sho wo Suteyo Machi e Deyou (Throw Away Your Books, Rally in the Streets)

Dec 5 Sat - 27 Sun Theatre East

今年生誕80年を迎え、「言葉の錬金術師」との異名をとる、寺山修司の代表作「書を捨てよ町へ出よう」に、近年日本演劇界を席卷する、気鋭の若手演出家、マームとジブシーの藤田貴大が挑みます。

This year marks the 80th anniversary of the birth of Shuji Terayama, called an “alchemist of words.” Takahiro Fujita, a young cutting-edge director, who has drawn much attention in the recent Japanese theater scene, will work on one of Terayama’s representative books “Throw Away Your Books, Rally in the Streets.”

作：寺山修司

上演台本・演出：藤田貴大(マームとジブシー)

出演：村上虹郎、青柳いつみ、吉田聡子、尾野島慎太郎 ほか

料金：全席指定一般 4,800 円、高校生割引 1,000 円、25 歳以下 3,800 円、65 歳以上 4,300 円

※高校生割引、25 歳以下、65 歳以下チケットは東京芸術劇場ボックス

オフィスにて前売のみ取扱い

主催：東京都、東京芸術劇場・アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)

Text: Shuji Terayama

Script・Direction: Takahiro Fujita

Performer: Nijiro Murakami, Izumi Aoyagi, Satoko Yoshida, Shintaro Onoshima, etc.

Admission : Adult: ¥4,800, High School Student: ¥1,000, 25 and Under: ¥3,800, 65 and Over: ¥4,300



藤田貴大
Takahiro Fujita
Photo: 篠山紀信



村上虹郎
Nijiro Murakami
Photo: Go Tanabe

アーツカウンシル東京

Arts Council Tokyo



アーツカウンシル東京は、世界的な芸術文化都市東京として、芸術文化の創造・発信を推進し、東京の魅力を高める多様な事業を展開しています。

Arts Council Tokyo implements a variety of programs to promote the creation and dissemination of arts and culture and increase Tokyo's appeal as a global city of arts and culture.

伝統芸能公演

Traditional Arts Program

能楽、邦楽、日本舞踊、寄席芸、大田楽などを幅広く取り上げ、若者や外国人など伝統文化・芸能に馴染みのない層に対して、一流の実演家による本格的な伝統芸能の魅力をわかりやすく伝える公演や、参加型のプログラムなどを実施します。

Encompassing a wide range of classical performing arts, including Noh theater, traditional Japanese music, Nihon buyo dance, yose vaudeville performances, and Dai-dengaku dance, this program features accessible, yet authentic performances – including some with audience participation – by first-rate performers, targeting young people, foreign visitors and others unfamiliar with these arts.

◎古典芸能の祭典 アジアの記憶 日本の宝

日時：10月25日(日) 17:00開演

会場：東京文化会館 大ホール

料金：S席4,000円、A席3,000円、学生2,000円

◎江戸糸あやつり人形の世界～女形人形の美～

日時：12月19日(土) 17:30開演

会場：小金井 宮地楽器ホール(小金井市民交流センター) 大ホール

料金：一般2,500円、学生1,500円

◎日本美と伝統芸能の饗宴「FUJIYAMA」

日時：2016年1月2日(土) 13:30開演

会場：明治座

料金：S席5,000円(学生2,500円)、A席3,000円(学生1,500円)

主催：アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)

助成・協力：東京都

※他のプログラム情報など、詳細は公式ウェブサイト(<http://www.tokyo-tradition.jp>)をご覧ください



古典芸能の祭典
アジアの記憶 日本の宝

Festival of Traditional Performing Arts - Memories of Asia, Treasures of Japan



江戸糸あやつり人形の世界
～女形人形の美～

The World of Edo Ito Ayatsuri Ningyō - The Beauty of Onnagata Puppet



日本美と伝統芸能の饗宴
「FUJIYAMA」

The Beauty of Japan and a Feast of Traditional Performing Arts: FUJIYAMA

◎ Festival of Traditional Performing Arts
- Memories of Asia, Treasures of Japan

Date: Oct 25 Sun 17:00-

Venue: Tokyo Bunka Kaikan Main Hall

Admission: S seats: ¥4,000, A seats: ¥3,000, Students: ¥2,000

◎ The World of Edo Ito Ayatsuri Ningyō - The Beauty of Onnagata Puppet

Date: Dec 19 Sat 17:30-

Venue: Koganei Miyajigakki Hall (Koganei Civic Center) Main Hall

Admission: Adults: ¥2,500 / Students: ¥1,500

◎ The Beauty of Japan and a Feast of Traditional Performing Arts: FUJIYAMA

Date: Jan 2 Sat, 2016 13:30-

Venue: Meijiya

Admission: S seats: ¥5,000(Students: ¥2,500), A seats: ¥3,000(Students: ¥1,500)

Mini
Information

Art Bridge Institute フォーラム 2015

「言葉の宇宙船—印刷物と思想の共有をめぐって」

ゲストに芹沢高志氏を迎え、Art Bridge Instituteの過去の活動を振り返り、未来について考えるフォーラムを開催します。10月24日(土) 15:00～、3331 Arts Chiyoda 1F コミュニティスペースにて。要事前申込。(http://a-b-i.info)



Art Bridge Institute フォーラム
2014「アートの連結力」の様子

トッピングイースト

和田永「エレクトロニコス・ファンタスティコス!」～初合奏遭遇篇～

11月23日(月・祝)

Topping East

Ei Wada "Electronics Fantasticos!" — Close Encounter of the Electronics Fantasticos! —

Nov 23 Mon, Holiday

「エレクトロニコス・ファンタスティコス!」は、古い電化製品を使ってオリジナルな楽器を産み出してきたアーティストの和田永が、あらゆる人を巻き込みながら新たな楽器(=エレクトロニコス)を創作し、量産し、奏法を編み出し、徐々にオーケストラを形づくっていくプログラムとして、2015年2月にスタートしました。墨田区のトッピングイースト拠点での滞在制作や公開考案会を経て、生み出された新たな楽器によるコンサートを開催します。

"Electronics Fantasticos!" started in February 2015 by Ei Wada, who has been creating original music instruments from old electronic appliances, and is featured in a program that invites all people to create new musical instruments (=Electronics), establish new methods of playing them, and gradually form an orchestra. Wada, who has created works based in Topping East in Sumida-ku and held open discussions, will stage a concert with newly born musical instruments.

開演:19:00(18:00開場)

会場:アサヒ・アートスクエア

料金:一般2,000円、学生1,000円、小学生以下無料

主催:東京都、アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)、特定非営利活動法人トッピングイースト

Date: Nov 23 Mon, holiday 19:00-

Venue: Asahi Art Square

Admission: Adults: ¥2,000 / Students: ¥1,000



フェスティバル/トーキョー15

10月31日(土)～12月6日(日)

Festival/Tokyo 2015

Oct 31 Sat - Dec 6 Sun

国境、世代、ジャンルを超えて多様な価値が出会い、互いを刺激し合うことで新たな可能性を拓くフェスティバル/トーキョー。第8回目となる今回は「融解する境界」をテーマに、国内外から招聘したアーティストによる舞台作品の上演などを行います。

Festival/Tokyo is a performing arts event offering encounters with a wide range of cultures, styles and ideas, transcending borders between nations, generations and genre to create new possibilities and inspiration. For its eighth season, it features a diverse program of contemporary theater and performance from Japan and overseas under the theme of "Border Fusion."

会場:東京芸術劇場、あうるすぽっと、にしがも創造舎、アサヒ・アートスクエア、彩の国さいたま芸術劇場、池袋西口公園、豊島区 旧第十中学校 ほか

主催:フェスティバル/トーキョー実行委員会

豊島区/公益財団法人としま未来文化財団/NPO法人アートネットワーク・ジャパン

アーツカウンシル東京・東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

Venues: Tokyo Metropolitan Theatre, Owlspace Theater, Nishi-Sugamo Arts Factory, Asahi Art Square, Saitama Arts Theater, Ikebukuro Nishiguchi Park, Former Toshima City 10th Junior High School, etc.

Organizers: Festival/Tokyo Executive Committee, Toshima City, Toshima Future Culture Foundation, NPO Arts Network Japan, Arts Council Tokyo & Tokyo Metropolitan Theatre (Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture)



Art Direction: Yoshio Ujije (Ujije Planning office)
Illustration: naomi@paris, tokyo

第8回恵比寿映像祭

2016年2月11日(木・祝)～20日(土)

Yebisu International Festival for Art & Alternative Visions 2016

Feb 11 Thu, Holiday - 20 Sat, 2016

年に一度のアートと映像の国際フェスティバル「第8回恵比寿映像祭」を10日間にわたって開催します。館が改修工事・休館中のため、ザ・ガーデンホール、ザ・ガーデンルーム、恵比寿ガーデンプレイスセンター広場を中心とした複数の会場で、展示・上映・オフサイト展示・イベント・シンポジウム・ライブ・地域連携・ガイドツアーなど多彩なプログラムを行います。詳細はウェブサイト(<http://www.yebizo.com>)をご覧ください。

The annual International Festival for Arts and Alternative Visions will hold its eighth edition for a 10-day period. According to the temporary closing for renovations of the Tokyo Metropolitan Museum of Photography, The Garden Hall, The Garden Room, Yebisu Garden Place Center Square and others, will be the venues for the exhibitions, film screenings, events, symposium and live performances. Please check the website (<http://www.yebizo.com>) for updated information.

入場料:無料(上映、ライブ、レクチャーなど、定員制のものは一部有料)

時間:10:00～20:00 最終日は18:00まで(予定)

会場:ザ・ガーデンホール、ザ・ガーデンルーム、恵比寿ガーデンプレイスセンター広場ほか

主催:東京都、東京都写真美術館・アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)、日本経済新聞社(予定)

Admission: Free (Admission will be charged for some events with limited seating, including screenings, live performances, and lectures.)



瀬田なつき《5windows》恵比寿特別編2015年センター広場での上映風景
第7回恵比寿映像祭オフサイト展示作品より
Natsuki Seta, *5windows*, Yebisu Special Version, 2015
© Tokyo Metropolitan Museum of Photography
Photo: 新井孝明



山口典子《KEITAI GIRL ver. T》2015年
第7回恵比寿映像祭展示作品より
Noriko Yamaguchi, *KEITAI GIRL ver. T*, 2015
© Tokyo Metropolitan Museum of Photography
Photo: 新井孝明



スズキユウリ《Garden of Russolo》2013年
第7回恵比寿映像祭展示作品より
Yuri Suzuki, *Garden of Russolo*, 2013
© Tokyo Metropolitan Museum of Photography
Photo: 新井孝明

All photos: from works at Yebisu International Festival for Art & Alternative Visions 2015

Mini Information

改修工事ともなう休館について

東京都写真美術館は大規模改修工事のため2016年秋(予定)まで休館しています。1995年1月の総合開館以来、約20年間にわたり写真と映像専門の総合美術館として日本におけるセンター的役割を担ってまいりました。この度の改修工事でも、設備機器の更新などを行い、公共施設としてより安心で快適な美術館へと生まれ変わります。最新の情報は、ウェブサイトや公式ツイッターで随時お知らせします。



外観

お正月開館のお知らせ

Special Open Days for New Year Holiday Period

お正月期間中、東京都江戸東京博物館、江戸東京たてもの園、東京都現代美術館では、開館・閉館を予定しております。各種イベントも開催いたしますので、詳細はウェブサイトをご覧ください。

Tokyo Metropolitan Edo-Tokyo Museum, Edo-Tokyo Open Air Architectural Museum and Museum of Contemporary Art Tokyo are scheduled to open during the New Year holiday period.

Please refer to each facility's website for further details. Various events will be featured.



東京都江戸東京博物館
Tokyo Metropolitan Edo-Tokyo Museum



江戸東京たてもの園
Edo-Tokyo Open Air Architectural Museum

●東京都江戸東京博物館

2016年1月2日(土)、3日(日)、4日(月)※5日(火)は臨時閉館

開館時間:9:30～17:30(入館は閉館時間の30分前まで)

入場料:2日および3日は常設展示室観覧料無料

Tokyo Metropolitan Edo-Tokyo Museum

Open: Jan 2 Sat, 3 Sun, 4 Mon, 2016 (Closed on 5 Tue)

Hours: 9:30-17:30

Admission: Free for Permanent Exhibition Gallery (Jan 2 Sat - 3 Sun)

●江戸東京たてもの園

2016年1月2日(土)、3日(日)

閉館時間:9:30～16:30(入館は閉館時間の30分前まで)

入場料:無料

Edo-Tokyo Open Air Architectural Museum

Open: Jan 2 Sat, 3 Sun, 2016

Hours: 9:30-16:30

Admission: Free

●東京都現代美術館

2016年1月2日(土)、3日(日)

開館時間:10:00～18:00(入館は閉館時間の30分前まで)

(ただし、美術図書室は休室)

入場料:常設展観覧料無料。企画展観覧料は通常通り

Museum of Contemporary Art Tokyo

Open: Jan 2 Sat, 3 Sun, 2016

Hours: 10:00-18:00 (Art library will be closed.)

Admission: Free for Collection Gallery

東京都歴史文化財団へのご支援のお願い —東京の文化の継承と発展、創造のために—

公益財団法人東京都歴史文化財団では、12の都立美術館・博物館及びホール等の管理運営を行うとともに、文化事業の実施や文化活動への助成など幅広い事業を展開し、首都東京の芸術文化の振興と江戸東京の歴史的遺産の継承、発展に努めております。

つきましては、当財団の芸術文化活動展開の趣旨にご賛同いただける皆様や日頃から社会貢献にご理解のある企業の皆様へご招待(共催展等、一部対象外の企画もございます)。

●二口以上ご支援いただいた方には、展覧会の一般公開に先立ち行われます「内覧会」へご招待。そのほか、詳しくは公式ウェブサイトをご確認ください。
<https://www.rekibun.or.jp/support/support.html>

【ご支援の内容について】

一口 50,000円(個人・法人を問いません。)

【特典】

●財団が管理運営する都立美術館・博物館の展覧会など主催事業へご招待(共催展等、一部対象外の企画もございます)。

●二口以上ご支援いただいた方には、展覧会の一般公開に先立ち行われます「内覧会」へご招待。

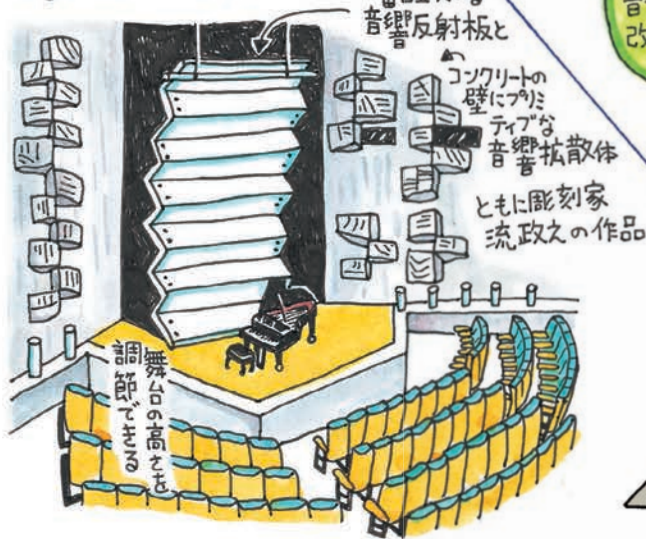
そのほか、詳しくは公式ウェブサイトをご確認ください。
<https://www.rekibun.or.jp/support/support.html>

東京文化会館

音楽ホールにコンサートを聴きに行ったら建物の中も散策しないともったいない！日本近代建築の巨匠、前川國男が設計した建物は、細部にいたるまでワクワクする演出が施されています。

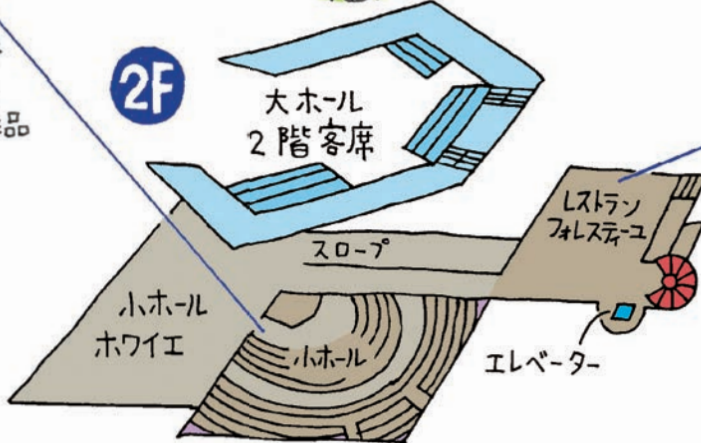
絵・文／溝口イタル

主にリサイタルや室内楽に使われる
小ホール (649席)



1961年前川國男の設計で建てられた本格的な音楽ホール。2014年12月に改修工事を経て、リニューアルオープンしました

2F



音楽資料室

クラシックを中心に民族音楽、邦楽、舞踊などの資料を閲覧、視聴できます(無料)



アナログレコードやレジャーディスクもありません

13時～20時(火・土) 月曜休



大ホール1階入口横の階段

レストラン フォレステュー

昭和36年の開館時からあるメニュー
オリジナルチャップスイ(1100円)



ふわとろオムライス
ハヤシソース海老フライ
添え(1350円)は、なぜか海老が立っていました。



洋風の中華丼といったところ

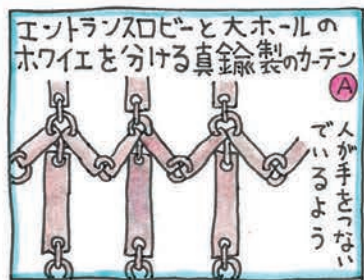
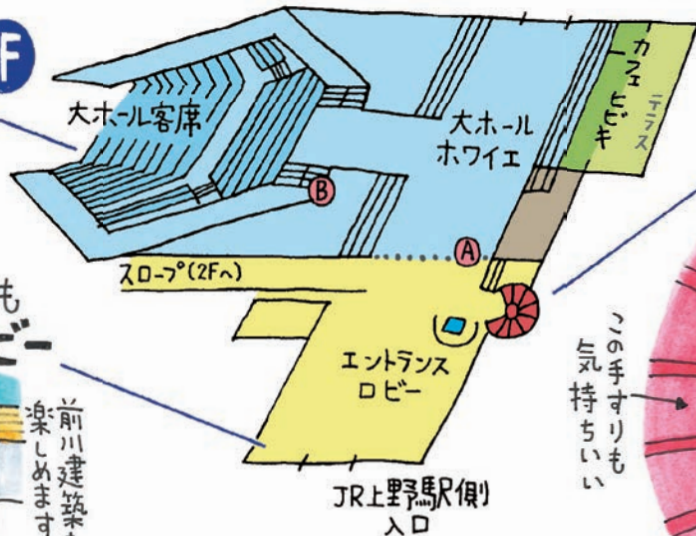
アメリカに渡った
広東料理が
現地風にアレンジ
されたもの

オペラ、バレエ、オーケストラなどの公演を行う **大ホール** (2303席)



今回の改修工事ではシートを全て張替ました。
シートの中には音響効果を考へてラミネートが入っています。

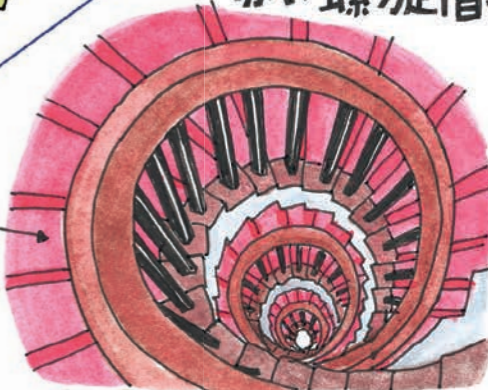
1F



コンサートのチケットがなくても入れる **エントランスロビー**

前川建築家も
楽しまれます

ロビーとレストラン(2F)、音楽資料室(4F)を結ぶ **赤い螺旋階段**



重厚だけどモダンでかわいいです
演者はタウリン
観客は高揚
楽屋側にはこれと対をなす青い螺旋階段があります

<http://tokyoartnavi.jp>

TOKYO ART NAVIGATIONのご案内

松蔭先生の課外授業

東京都現代美術館 ゲスト：アーティスト／村瀬都思さん

Museum of Contemporary Art Tokyo
Guest: Toshi Murase, artist

ウェブサイト「Tokyo Art Navigation」で現在連載中のコラム「松蔭先生の課外授業」では、アーティストとして活動を続ける傍ら、創形美術学校や美学校などで教壇に立ち、熱心に後進たちの指導に取り組んできた松蔭浩之さんが、毎回さまざまな若手アーティストと都内の展覧会を訪れます。今回は村瀬都思さんをゲストに東京都現代美術館を訪れた回のダイジェストとともに、コラムの見どころを紹介します。

Hiroyuki Matsukage is an artist and lecturer at Sokei Academy of Fine Art & Design and Bigakko art school. He visits exhibitions in Tokyo together with young artists and then posts regular columns on the Tokyo Art Navigation website. In his latest effort, he invited Toshi Murase to go to the Museum of Contemporary Art Tokyo. Here is his digest.



学芸員の藪前さん(右)の解説とともに展示を見る。「山口小夜子さんは1970年代からモデルとして活動を始めました。本展は、彼女の過去をたどるパートと、小夜子さんと関わった人たちによる新たなコラボレーションを見せるパートから成り立っています」

point 1

展覧会を観る

松蔭先生とゲストアーティストが展覧会の担当者と一緒に、会場をめぐります。担当者やゲストアーティストとのやりとりから展示作品の見どころを解説。東京都現代美術館で6月28日まで開催された「山口小夜子 未来を着る人」では、松蔭先生が撮

影した山口小夜子のポートレートも展示され、撮影時のエピソードを聞くことができました。



松蔭さん撮影の写真の前で。松蔭「雑誌「ART IT」で小夜子さんにモデルを頼んでね。撮影して3年後、他の十数人の写真をまとめた個展をした時、オープニングとクローゼットにも来てくれて……」

point 2

フォト・セッション

松蔭先生が自らカメラを手にし

て会場を撮影し、展覧会の魅力を切り取ります。また、ゲストアーティストを松蔭先生が撮影するフォト・セッションもあり、東京都現代美術館の中庭で撮影した村瀬さんのポートレートが記事に掲載されました。



撮影：松蔭浩之

point 3

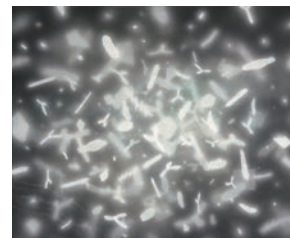
作品講評

展覧会を堪能したあと、ゲストアーティストの作品を前に松蔭先生が行う講評も連載の目玉の

ひとつ。村瀬さんは第4回TANコンペの大賞受賞者で、受賞作品を持ってきてくれました。村瀬さんは制作の狙いや、同世代の気になるアーティストなどを話し、松蔭先生の30代の頃の話、作品を作り続けていく覚悟についてなど、さまざまな話題が飛びだしました。



「何かをドローイングします。しばらくしてから、記憶をたどりながらまた絵にします。それを続けるうち、だんだん形が削り落ちていって、それをあらためて絵のモチーフに使ったりするんです」と村瀬さん。



村瀬都思(くどうをただよう)2014年

村瀬さんと訪れた東京都現代美術館の記事は、東京都歴史文化

財団が運営するウェブサイト、Tokyo Art Navigationの「松蔭先生の課外授業」で3回にわたって紹介されています。ぜひご覧ください。また、今後、東京都江戸東京博物館などの展覧会を巡る予定です。お楽しみに！

point 1

Appreciating the exhibition

Mr. Matsukage and a guest artist explore the exhibition site along with the curator. This is an explanation of the exhibition's highlights conveyed through a dialogue between the curator and a guest. "Sayoko Yamagishi: The Wearist, Clothed in the Future," held through June 28, featured portraits of Sayoko photographed by Mr. Matsukage, and he revealed some anecdotes during the shoot.

point 2

Photo sessions

Mr. Matsukage brings his camera and take photographs at the exhibition site, extracting the show's attractive features. He also hold a shoot to photograph the guest artist. A portrait of Murase photographed by Mr. Matsukage in the courtyard of the Museum of Contemporary Art Tokyo was featured in the report.

point 3

Reviewing the works

After enjoying the exhibition, Mr. Matsukage reviews works by the guest artist in person. This is one of the highlights of the regular column. The article on the Museum of Contemporary Art Tokyo where Mr. Matsukage visited with Mr. Murase is available on the Tokyo Art Navigation website. Please visit the site and enjoy. Mr. Matsukage will explore exhibitions in the Edo-Tokyo Museum soon. Please look forward to it!

松蔭浩之 Hiroyuki Matsukage

1965年、福岡県生まれ。大阪芸術大学芸術学部写真学科卒業。在学中に平野治朗とアート・ユニット「コンプレッソ・プラスチック」結成し、90年にベネチア・ビエンナーレに参加。個展やグループ展多数。アーティスト・グループ「昭和40年会」会長も務める。



村瀬都思 Toshi Murase

1984年、愛知県生まれ。2009年、武蔵野美術大学大学院造形研究科 日本画コース修了。現在、東京を拠点に、絵画を中心に作品を制作。

Mini
Information

若手アーティストの発掘「第5回 TAN コンペ」

Tokyo Art Navigationで過去4回実施された若手アーティストの作品コンペティション。今回はTwitterによる投票システムも加えて、内容をリニューアルします。作品の応募は11月下旬まで。投票は11月下旬から12月下旬までを予定。詳細はウェブサイトをご確認ください。

Maps & Information

● 公益財団法人東京都歴史文化財団

Tokyo Metropolitan Foundation for
History and Culture
<http://www.rekibun.or.jp>

● トーキョー・アート・ナビゲーション

Tokyo Art Navigation
<http://tokyoartnavi.jp>

● 観覧料について(対象:東京都江戸東京博物館の常設展・江戸東京たてもの園・東京都現代美術館の常設展)

- ・小学生以下・都内在住・在学の中学生は無料
 - ・65歳以上の方は、一般料金の半額。毎月3水曜日は無料
 - ・毎月第3土曜日・日曜日(家族ふれあいの日)は、18歳未満のお子さまを同伴する都内在住の方は半額
 - ・観覧料の記載がない場合は、展覧会・催物によって金額が異なります
- Admission Fee (Permanent Exhibition of Tokyo Metropolitan Edo-Tokyo Museum, Edo-Tokyo Open Air Architectural Museum, Permanent Exhibition of Museum of Contemporary Art Tokyo)
- ・ Admission Free : Elementary and junior high school students reside or go to school in Tokyo.
 - ・ Half Price : Seniors (65 and over)
 - ・ Seniors (65 and over) are admitted for free on every third Wednesday.
 - ・ Adult residents of Tokyo accompanying children under 18 years old are admitted for half price on every third Saturday and Sunday.
 - ・ Fees may vary depending on the exhibitions and events. Please confirm if fees are not indicated.

● 休館日は各館ごとに異なります。詳細はカレンダーページをご確認ください

Closed day may vary by facility. Please check the calendar pages for further details.

主な路線図 Route map

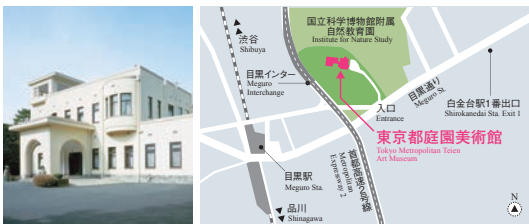


- JR山手線 JR Yamanote Line
- JR中央線 JR Chuo Line
- JR総武線 JR Chuo-Sobu Line
- 都営大江戸線 Toei Subway Oedo Line
- 都営三田線 Toei Subway Mita Line
- 都営新宿線 Toei Subway Shinjuku Line

- 東京メトロ半蔵門線 Tokyo Metro Hanzonme Line
- 東京メトロ銀座線 Tokyo Metro Ginza Line
- 東京メトロ丸ノ内線 Tokyo Metro Marunouchi Line
- 東京メトロ南北線 Tokyo Metro Namboku Line
- 東京メトロ副都心線 Tokyo Metro Fukutoshin Line

01 東京都庭園美術館

Tokyo Metropolitan Teien Art Museum



所在地:〒108-0071 港区白金5-21-9 交通:JR目黒駅東口・東急目黒線目黒駅正面口より徒歩7分... 開館時間:10:00-18:00

02 東京都江戸東京博物館

Tokyo Metropolitan Edo-Tokyo Museum

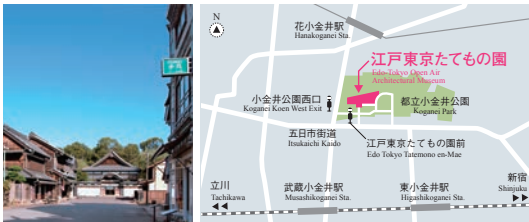


所在地:〒130-0015 墨田区横綱1-4-1 交通:JR两国駅西口より徒歩3分... 開館時間:9:30-17:30

Address: 1-4-1 Yokoami, Sumida-ku, Tokyo 130-0015 Opening hours: 9:30-17:30 (19:30 Saturday) Closed: Mondays

03 江戸東京たてもの園

Edo-Tokyo Open Air Architectural Museum



所在地:〒184-0005 小金井市桜町3-7-1 交通:JR武蔵小金井駅北口よりバス2番3番乗り場より

Address: 3-7-1 Sakura-cho, Koganei-shi, Tokyo 184-0005 Opening hours: Apr.-Sep. 9:30-17:30, Oct.-Mar. 9:30-16:30

04 東京都写真美術館

Tokyo Metropolitan Museum of Photography



改修工事のため全面休館中 2016年秋リニューアル開館予定

所在地:〒153-0062 目黒区三田1-13-3(恵比寿ガーデンプレイス内) 交通:JR恵比寿駅東口より徒歩7分

※上記の情報は休館前のものです *The above information is for reference only. The museum is temporarily closed for renovations.

05 東京都現代美術館

Museum of Contemporary Art Tokyo



所在地:〒135-0022 江東区三好4-1-1 交通:東京メトロ半蔵門線清澄白河駅B2出口より徒歩9分

Address: 4-1-1 Miyoshi, Koto-ku, Tokyo 135-0022 Opening hours: 10:00-18:00 Closed: Mondays

06 トーキョーワンダーサイト本郷

Tokyo Wonder Site Hongo



所在地:〒113-0033 文京区本郷2-4-16 交通:JR 御茶ノ水駅 御茶ノ水橋口・水道橋駅東口

Address: 2-4-16 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo 113-0033 Opening hours: 11:00-19:00 Closed: Mondays

07 トーキョーワンダーサイト渋谷

Tokyo Wonder Site Shibuya



所在地:〒150-0041 渋谷区神南1-19-8 渋谷区立勤労福祉会館1F

Address: Shibuya Workers' Welfare Hall 1F, 1-19-8 Jinnan, Shibuya-ku, Tokyo 150-0041

08 トーキョーワンダーサイトレジデンス

Tokyo Wonder Site Residency



所在地:〒130-0023 墨田区立川2-14-7アーツ菊川1F(オフィス501)

Address: Arts Kikukawa 1F, 2-14-7 Tatekawa, Sumida-ku, Tokyo 130-0023

09 東京都美術館

Tokyo Metropolitan Art Museum



所在地:〒110-0007 台東区上野公園8-36 交通:JR上野駅公園口より徒歩7分

Address: 8-36 Ueno-Koen, Taito-ku, Tokyo 110-0007 Opening hours: 9:30-17:30 (Special Exhibition: 20:00 Friday)

10 東京文化会館

Tokyo Bunka Kaikan



所在地:〒110-8716 台東区上野公園5-45 交通:JR上野駅公園口より徒歩1分

Address: 5-45 Ueno-Koen, Taito-ku, Tokyo 110-8716 Opening hours: 9:00-22:00 Closed: New Year holidays

11 東京芸術劇場

Tokyo Metropolitan Theatre



所在地:〒171-0021 豊島区西池袋1-8-1 交通:JR・東京メトロ・東武東上線

Address: 1-8-1 Nishi-Kebukuro, Toshima-ku, Tokyo 171-0021 Opening hours: 9:00-22:00 Closed: New Year holidays

※各施設では、保守点検、工事休館などにより、開館日時が変更になることがあります。詳細はウェブサイトをご参照ください。

ART NEWS TOKYO

2015.10-12

発行日: 2015年10月1日(季刊)1.4.7.10月発行
発行: 公益財団法人東京都歴史文化財団
企画: 公益財団法人東京都歴史文化財団 事務局総務課企画広報係

© Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture. All rights reserved.
本誌掲載の記事、写真の無断複写、複製を禁じます。
※掲載した情報は2015年9月現在の情報です。やむを得ない事情などで開催内容が変更になることがあります。

ART NEWS TOKYO Art & Culture Calendar 10-12月の催事カレンダー

東京文化会館

Tokyo Bunka Kaikan

- 大ホール Main Hall
- リハーサル室B Rehearsal room B
- 小ホール Recital Hall
- その他 Various collaborated venues

2015 OCTOBER

10

休館日：19・20日
Closed: 19 Mon, 20 Tue

2日～11月3日

Music Program TOKYO / Music Festival TOKYO
まちなかコンサート 芸術の秋、音楽さんぽ

2日 国立西洋美術館 15:30/18:30
3日 江戸東京たてもの園 11:00/12:20/13:50/15:10
 旧岩崎邸庭園 13:00/15:30
4日 江戸東京たてもの園 11:00/12:20/13:50/15:10
10日 東京文化会館 10:30/11:30
11日 東京文化会館 10:30/11:30
17日 旧岩崎邸庭園 13:00/15:30
25日 国立科学博物館 13:00/15:00
31日 東京国立博物館 11:00/12:30
 東京都美術館 14:00/15:00

11月1日 恩賜上野動物園 13:00/15:00
 東京都美術館 14:00/15:00
11月3日 旧吉田屋酒店 13:00/14:00
料金:無料(施設への入館料・入園料が別途必要な場合があります)

Music Program TOKYO: The Machinaka Concert - Autumn in Art, Walking of Music -
Admission: Free

4日 小ホール Recital Hall

Music Program TOKYO / Music Festival TOKYO
プラチナ・シリーズ 第1回 タンブッコ〜メキシコ発、驚異のパーカッション・アンサンブル〜

開演:15:00 出演:タンブッコ
曲目:S.ライヒ/木片のための音楽 ほか
料金:S席5,000円、A席4,000円、B席2,500円(B席売切)
The Platinum Series No.1 Tambuco
Start: 15:00 Performer: Tambuco
Admission: S seats: ¥5,000, A seats: ¥4,000, B seats: ¥2,500 (B seats are sold out)

7日 小ホール Recital Hall

モーニングコンサートVol.89
開演:11:00 出演:コハーン・イシュトヴァーン(クラリネット)、高橋ドレミ(ピアノ)
曲目:ブーランク/クラリネット・ソナタ ほか
料金:500円
Morning Concert Vol.89
Start: 11:00 Admission: ¥500

13日 小ホール Recital Hall

創造-楽落らいぶVol.31-音楽家と落語家のコラボレーション-

開演:11:00
出演:春風亭柳橋(落語)、藤原昇(サクソフォン) ほか
曲目:第一部:ミニコンサート、第二部:落語と音楽のコラボレーション「粗忽長屋」
料金:500円
The Collaboration of Music and Rakugo Vol.31
Start: 11:00 Admission: ¥500

17日 小ホール Recital Hall

Music Program TOKYO / Music Festival TOKYO
まちなかコンサートVol.1 シネマ・セレナーデ

開演:14:00 出演:石亀協子(ヴァイオリン)、直江智沙子(ヴァイオリン)、伊藤慧(ヴァイオリン)、奥泉貴圭(チェロ)、瀧地宗(ホルン)、守岡未央(トランペット)、佐藤成美(トランペット)、府川雪野(トロンボーン)、喜名雅(チューバ)、松尾紀子(ナビゲーター)

曲目:バーンスタイン/ウエスト・サイド・ストーリーより ほか
料金:1,000円
The Machinaka Concert Vol.1 Cinema Serenade
Start: 14:00 Admission: ¥1,000

18日 小ホール Recital Hall

Music Program TOKYO / Music Festival TOKYO
プラチナ・シリーズ 第2回 秋吉敏子

～TOSHIKO JAZZ LIVE!～

開演:15:00 出演:秋吉敏子(ピアノ) 曲目:当日発表
料金:S席5,000円、A席4,000円、B席2,500円(予定枚数終了)
The Platinum Series No.2 Toshiko Akiyoshi
Start: 15:00 Performer: Toshiko Akiyoshi (Piano)
Admission: S seats: ¥5,000, A seats: ¥4,000, B seats: ¥2,500 (Sold out)

21日 小ホール Recital Hall

Music Program TOKYO / Music Festival TOKYO
ミュージック・エデュケーション・プログラム Talk & Lesson
小管根 真ワークショップ「自分で見つける音楽Vol.3」

開演:19:00 出演:小管根真
料金:聴講料1,500円、25歳以下1,000円
Makoto Ozono Workshop "Find Your Own Music Vol.3"
Start: 19:00 Performer: Masoto Ozono
Admission: ¥1,500, 25 and under ¥1,000

22～25日 東京文化会館、東京芸術劇場

Tokyo Bunka Kaikan, Tokyo Metropolitan Theatre

Music Program TOKYO / Music Festival TOKYO

ミュージック・エデュケーション・プログラム

Workshop Workshop! 国際連携企画

ミュージック・ワークショップ・フェスタ

料金:500円

22日 「コロロギの大冒険」10:30/12:00※

23日 「とびだせ!おんがくたんけん隊」10:30/12:00※

「あけてみよう!海のふしぎな宝箱」10:30/12:30※

「コロロギの大冒険」11:00/14:00

「シング&ビート」11:00

24日 「東京文化会館オリジナル・ワークショップA」10:00※

「カラダ・オト・ウタウ」10:30

「ライオン・ビート」11:00/13:30

「東京文化会館オリジナル・ワークショップB」11:30※

「リズムカル・キッチン」13:00/15:00

「ムジカ・ピッコラ」14:00

「東京文化会館オリジナル・ワークショップC」14:00※

「ワークショップ・コンサート」15:30

25日 「ワークショップ・コンサート」15:30

Music Workshop Festa

Admission: ¥500

※は東京芸術劇場で開催

※ will be held in Tokyo Metropolitan Theatre

24日 小ホール Recital Hall

Music Program TOKYO / Music Festival TOKYO

まちなかコンサートVol.2 3歳からの楽しいクラシック

開演:14:00 出演:白石光隆(ピアノ)、高見信行(トランペット)

曲目:ハイドン/トランペット協奏曲より ほか

料金:500円(対象:未就学児(3～6歳)と保護者およびその家族)

The Machinaka Concert Vol.2 Concert for Children

Start: 14:00 Admission: ¥500

24・25日 大ホール(24日)、オリンパスホール八王子(25日)

Main Hall(24 Sat), Olympus Hall Hachioji(25 Sun)

Music Program TOKYO / Music Festival TOKYO

小管根 真×ブランフォード・マルサリス "Jazz meets Classic"

with 東京都交響楽団

開演:17:00(24日)、15:00(25日)

出演:エドヴィン・アウトウォーター(指揮)、ブランフォード・マルサリス(サクソフォン)、小管根真(ピアノ)、東京都交響楽団

曲目:ジョン・アダムズ/サクソフォン協奏曲、プロコフィエフ/ピアノ協奏曲第3番 ほか

料金:S席5,000円、A席4,000円、B席3,000円、学生席1,000円

Makoto Ozono & Branford Marsalis "Jazz meets Classic" with Tokyo Metropolitan Symphony Orchestra

Start: 17:00 (24 Sat), 15:00 (25 Sun)

Admission: S seats: ¥5,000, A seats: ¥4,000, etc.

2015 NOVEMBER

11

休館日：9・10日
Closed: 9 Mon, 10 Tue

11日 小ホール Recital Hall

モーニングコンサート番外編「秋の夜コンサート」

開演:19:00

出演:安部まりあ(ピアノ)、高橋優介(ピアノ)

曲目:ラフマニノフ/組曲第2番 ほか

料金:500円

Morning Concert Autumn Special <Soiree>

Start: 19:00 Admission: ¥500

27日 小ホール Recital Hall

Music Program TOKYO プラチナ・シリーズ

第3回 コーティエ・カプソン&児玉桃〜二人のエスプリが奏でる

チェロ・ソナタ〜

開演:19:00

出演:コーティエ・カプソン(チェロ)、児玉桃(ピアノ)

曲目:ブラームス/チェロ・ソナタ第1番 ほか

料金:S席5,000円、A席4,000円、B席2,500円(B席売切)

The Platinum Series No.3 Gautier Capuçon & Momo Kodama

Start: 19:00 Admission: S seats: ¥5,000, etc.

2015 DECEMBER

12

休館日：7・14・29・30日
Closed: 7 Mon, 14 Mon, 29 Tue, 30 Wed

5日 リハーサル室B Rehearsal room B

Music Program TOKYO

ミュージック・エデュケーション・プログラム

東京文化会館ミュージック・ワークショップ「とびだせ!おんがくたんけん隊」

開始:10:30/12:00/14:00

料金:500円

Music Workshop "World Music Adventure"

Start: 10:30 / 12:00 / 14:00 Admission: ¥500

9日 小ホール Recital Hall

モーニングコンサートVol.90

開演:11:00

出演:坪井夏美(ヴァイオリン)、三又瑛子(ピアノ)

曲目:ショーン/詩曲、フランク/ヴァイオリン・ソナタ ほか

料金:500円

Morning Concert Vol.90

Start: 11:00 Admission: ¥500

22日 小ホール Recital Hall

Music Program TOKYO まちなかコンサートVol.3

よりみちコンサート 歌で贈るクリスマス・プレゼント

開演:19:00

出演:上田純子(ソプラノ)、清水理恵(ソプラノ)、宮里直樹(テノール)、高橋洋介(バリトン)、藤原藍子(ピアノ)

曲目:ブッチェーニ/オペラ「ラ・ボエーム」より抜粋 ほか

料金:500円

The Machinaka Concert Vol.3: Yorimichi Concert

Christmas Present by Songs

Start: 19:00 Admission: ¥500

東京芸術劇場

Tokyo Metropolitan Theatre

- コンサートホール Concert Hall
- シアターウエスト Theatre West
- プレイハウス Playhouse
- シアターイースト Theatre East

2015 OCTOBER

10

休館日：5・19日
Closed: 5 Mon, 19 Mon

～4日 シアターイースト Theatre East

カタルシツ「語る室」 作・演出:前川知大

出演:浜田信也、安井順平、盛隆二、大窪人衛、木下あかり、板垣雄亮、中嶋朋子

料金:全席指定 前売4,500円、当日4,800円

katarusitsu/ katarusitsu]

Text・Direction:Tomohiro Maekawa

Admission: Advance ticket: ¥4,500, On the day: ¥4,800

2～12日 シアターウエスト Theatre West

穂の国とよはし芸術劇場PLAT プロデュース「父よ!」

作・演出:田村孝裕(ONEOR8)

出演:平田満、ベンガル、徳井優、花王おさむ、井上加奈子

料金:全席指定 一般[早期観劇割引]4,000円、一般:4,500円 ほか

"Oh my papa!" produced by Toyohashi, Arts Theater "PLAT"

Text・Direction: Takahiro Tamura

Admission: Advance ticket: ¥4,000, Adult: ¥4,500, etc.

8～18日 シアターイースト ほか Theatre East, etc.

カントール生誕100年記念「カントールと演劇の二十世紀」

10月8日(木)～10月18日(日):作品上映+展示+レクチャー+シンポジウム

12月5日(土)14:00～鈴木忠志×鴻英良対談

12月17日(木)～24日(木):タノクロウ作・演出ワーク・イン・プログレス公演

12月18日(金)～20日(日):ワークショップ

※詳細はウェブサイトをご覧ください

Marking the centennial of Tadeusz Kantor's birth:

Tadeusz Kantor and Theatrical Plays of the 20th Century

※Please refer the website for further details

15日 コンサートホール Concert Hall

東京芸術劇場ナイトタイム・バイパオルガンコンサートVol.12

開演:19:30

出演:小林英之(オルガン)

料金:全席指定1,000円

Tokyo Metropolitan Theatre Nighttime Organ Concert Vol.12

Start: 19:30 Performer: Hideyuki Kobayashi (Organ)

Admission: ¥1,000

15・17・18日、21～23日 プレイハウス Playhouse

ルーマニア国立ラドゥ・スタンカ劇場「ガリバー旅行記」(15-17-18日)「オイディプス」(21～23日)

演出:シルヴィウ・ブルカレーテ

出演:オフェリア・ボビ ほか

料金:各公演全席指定 一般S席5,500円、A席4,500円 ほか

Radu Stanca National Theatre From Sibiu "Gulliver's Travels"

"Oidip"

Direction: Silviu Purcărete

Admission: Each performance S seats: ¥5,500, A seats: ¥4,500, etc.

22・24・25日 コンサートホール Concert Hall

東京芸術劇場シアターオペラvol.9 (全国共同制作プロジェクト)

モーツァルト/歌劇「フィガロの結婚」～庭師は見た!～ 新演出(全4幕・字幕付 原語&一部日本語上演)

指揮・総監督:井上道義

演出:野田秀樹

料金:全席指定 S席10,000円、A席8,000円、B席6,000円 ほか

W.A.Mozart [Le nozze di Figaro]

Conductor-General Director: Michiyoshi Inoue

Stage Director: Hideki Noda

Admission: S seats: ¥10,000, A seats: ¥8,000, B seats: ¥6,000, etc.

23日～11月1日 シアターイースト Theatre East

芝居eyes てがみ座/地を渡る舟]

脚本:長田育恵(てがみ座)

演出:扇田拓也

出演:福田温子、今泉舞、箱田暁史 ほか

料金:全席指定 前売4,000円、当日4,200円 ほか

Geigeki eyes: An Ark Traveling Over Land by Tegami-za Theatre

Text: Ikuo Osada

Direction: Takuya Senda

Admission: Advance ticket: ¥4,000, On the day: ¥4,200, etc.

26日 コンサートホール Concert Hall

ザ・フィルハーモニクス

開演:19:00 出演:ザ・フィルハーモニクス

曲目:シュトラウスII(S.コンツ編)/喜歌劇「こうもり」より

"チャルダージュ"、ブラームス(T.コヴァーチ編)/ハンガリー

舞曲第6番 ほか 料金:全席指定 6,500円

Morning Concert Vol.90

Start: 19:00 Admission: ¥6,500

28日 コンサートホール Concert Hall

前橋汀子 デイライト・コンサート Vol.3

開演:11:30

出演:前橋汀子(ヴァイオリン)、松本和将(ピアノ)

曲目:ドビュッシー/亜麻色の髪の乙女、ベートーヴェン/ロマ

ンス第2番 へ長調 op.50 ほか

料金:全席指定 2,000円

Teiko Maehashi Day Light Concert Vol.3

Start: 11:30 Admission: ¥2,000

30日 コンサートホール Concert Hall

海外オーケストラシリーズI ベルリン・ドイツ交響楽団

開演:19:00

出演:トッガン・ソリエフ(指揮)、神尾真由子(ヴァイオリン)、ベルリン・ドイツ交響楽団

曲目:メンデルスゾーン/ヴァイオリン協奏曲、ベートーヴェン/交響曲第7番 ほか

料金:全席指定 S席16,000円、A席13,000円、B席10,000円 ほか

Tugan Sokhiev & Deutsches Symphonie-Orchester Berlin

Start: 19:00

Admission: S seats: ¥16,000, A seats: ¥13,000, B seats: ¥10,000, etc.

2015 NOVEMBER

11

休館日：9・10日
Closed: 9 Mon, 10 Tue

1日 コンサートホール Concert Hall

開館25周年記念コンサート ジョヴァン・ヴィーヴル〜生きる喜び

開演:第1部 15:00、第2部 17:30 ※入替制

出演:第1部「祈り」:鈴木優人(指揮&ポジティブ・オルガン)、石丸由佳(オルガン)、小尻健太(ダンス)、パッパ・コレギウム・ジャパン(合唱)

第2部「希望と愛」:鈴木優人(指揮)、児玉桃(ピアノ)、原田節(オンド・マルトノ)、芝劇ウインド・オーケストラ**、東京交響楽団*

曲目:第1部「祈り」:W.A.モーツァルト/《アヴェ・ヴェルム・コルプス》KV618、A.ベルト/《主よ平和を与えたまえ》 ほか

第2部「希望と愛」:I.ストラヴィンスキー(R.アールズ編曲)/組曲《火の鳥》*、O.メシアン/《トゥランガリーラ交響曲》* ほか

料金:第1部:全席指定 4,000円 第2部:全席指定 S席7,000円、A席6,000円、B席5,000円、C席4,000円 ほか